

課題挑戦型インターン シップ

東北公益文科大学 A2グループ

奈良拓海 高橋快晴 大沼由羽人 渋谷凌我 鈴木慎二郎

目次

- 今回の課題
- なぜ就農者を増やす必要があるのか
- ターゲット
- 農家の方のお話の概要
- 課題解決策について
- 結論

今回の課題

新規就農者を増やすにはどうしたらいいか。

なぜ就農者を増やす必要があるのか。

- 高齢化していて担い手不足に悩まされているから
- 今のうちに増やしておかないと、新規の人が就農したときに教える人がいなくなってしまう、続かなくなってしまうから
- 農業という伝統的な産業自体を無くさないようにするため
- 食料自給率の低下（令和元年度38%）→今後、何が起きるか分からない。日本だけで賄えるほどの食料は確保しなければならぬため

就農者を増やすためのターゲット

若者

⇒ 中高生を始めとした10代・20代への農業のイメージ向上が大切になる。

酒田市の農家の方のお話の概要 1

- オンラインでの販売は送料や手数料などで通常の3倍程度の価格になってしまう
- 酒田市の農産物のオンライン販売があれば出品したい
- ふるさと納税による注文が多い

酒田市の農家の方のお話の概要 2

- 新規就農者の中で農家の子弟は多いが、最初から始める人は少ない
- 農機具や土地を持たない人が農業を始めるには、継続的な財政支援が必要
- 稲作は従事者の数が多く機械を使うことで効率のよい作業ができるが、その他の農業分野では手作業が多く、人手が足りていないと感じる

課題解決案について

①酒田市の農業のPRサイトの作成 1

- ・ 酒田で農業を始めた人の情報
- ・ 一年の流れ
- ・ U・Iターン者向けの情報
- ・ 研修の内容
- ・ 制度の紹介

①酒田市の農業のPRサイトの作成 2

- ・ 質問欄を設ける ⇒ 農家が答える
- ・ サイトを見てくれた人に割引
- ・ 農業の豆知識
- ・ 各農家の一日を円グラフで
- ・ 求人サイトの情報

デモサイト：

[ホーム | Intern Sakata \(wixsite.com\)](http://www.internsakata.com)

②酒田市内の中高校生への農業等についてのアンケート調査の提案

- E x) ・ 農業に興味はありますか。
- ・ 農業についてのイメージを教えてください。
 - ・ 酒田市の特産物といえは何が思いつきますか。

→アンケートを実施することによって、酒田市を担っていく若者の考えが分かり、それを施策に生かすことができる。

③農家の方による学生向けの講演会や相談会を実施

→パンフレットやインターネットの情報だけでは分からないことを知ることができる。もともと興味がない人でも講演会や相談会をきっかけに興味を持ってくれるようになるかもしれない。

どんな農作物を育てているのか

実際に農作業をしている様子



農家の一日、
一か月、一
年の流れ

農業をして
いてよかったこと、大
変なこと

④長期の農業体験の実施

→通常の農業体験は一日で終わることが多いと思うが、それを長期で行うことで良いところも悪いところも知ることができ、実際に農業を始めるとなった時に、生かすことができる。逆に知らないまま就農してしまうと、離農に繋がってしまう。

実施例：遊佐町チャレンジファーム事業

<https://yutoliro.jp/tabid/883/Default.aspx>

⑤その他アイデア

- ・ SNSの有効活用
- ・ 学生が農業に触れる機会を増やす
- ・ 農協やJAと農家の連携強化
- ・ ブランドの確立
- ・ 酒田市の名物と農産物のコラボレーション
- ・ 奨学金のような制度

結論

- ・後継者不足などの問題が顕著であり、その中で若者に対してどうアプローチしていくかが大切である。
- ・農業のイメージ向上や興味関心を持ってもらうために、なるべく早い段階で農業に触れる機会や農家の話を聞く機会が多くなればよいと考えた。
- ・酒田の農業についてすぐに調べられるようなサイトがあればよい

参考文献

- ・ 酒田市,<http://www.city.sakata.lg.jp/>(2021年3月16日)
- ・ 農林水産省,https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html(2021年3月16日)